

## ♪ 親子レク に行ってきました! ♪ 10/15 (日)

かねてからの雨予報は的中し、朝から雨が降っていました。  
最初に訪れたところは、『神奈川県立生命の星・地球博物館』。恐竜や隕石などの実物標本を実際に手に触れることができます。親が子どもに説明している姿もあり、地球の誕生から現代における人類との共生まで親子で考えるととてもいい機会となりました。  
昼食は、『ドライブイン小田原みのや吉兵衛』。カニや名物の塩辛に蒲鉾、子どもたちの大好きな唐揚げ、ハンバーグ、フルーツとケーキがバイキング形式で食べ放題の夢のようなレストランです。子どもたちは一生懸命カニの身を殻から出して、とても美味しそうに食べていました。一通り食べ終わると、親子で揃ってケーキが置いてあるテーブルに並んでいました。  
この後はみかん狩りの予定でしたが、雨天により中止となってしまい、みかんのお土産をたくさんいただきました。  
みかん狩りがなかった分、帰りの東名高速道路の海老名SAでは多めに時間をとりました。さすがは海老名SA。まるでデパートのような活気で晩ごはんのおかず、ソフトクリーム、中が見えるコーヒーの自動販売機でコーヒーを買う参加者がいました。  
鉛色の空は耐えることなく解散場所の中延駅に着いても雨は降っていました。終始雨、みかん狩りも中止になりましたが参加者の方からは「楽しかった。」や「また来たい。」などの声がありました。親子で過ごしたかけがえのない時間はきっと一生忘れられない思い出となったことでしょう。



文責：地域センター職員 今村



### ふれ健 音楽療法コンサート 入場無料

歌って笑ってリフレッシュ  
いきいき音楽療法と大人のための紙芝居パートⅢ

日時 11月19日(日) 場所 旗の台シルバーセンター 2階  
午後1時30分～3時 主催 荏原第四地区健康づくり推進委員会  
開場 午後1時

### 荏原消防署 旗の台出張所からのお知らせ TEL:03-3783-0119

《電気ストーブによる火災に注意》  
電気ストーブによる火災は過去30年間で2,860件発生しています。東京消防庁管内の火災件数は年々減少していますが、電気製品が原因の火災は毎年約1,000件で変わっていません。よって、年々電気製品が関係する火災の割合は増加傾向にあります。  
羽毛布団を使っての実験によると、布団から炎が出る前の煙だけの状態で一酸化炭素の濃度が高くなり、危険な状態になります。  
※死者の約70%を75歳以上の後期高齢者が占めています。

- 電気ストーブ火災を防ぐポイント
- (1) 布団の近くにストーブを置かない  
布団とストーブが約10cm離れていても発火する危険性があります。
  - (2) スイッチを入れたまま寝ない  
布団や衣類が接触して発火する恐れがあります。
- 《エアソール缶による火災をなくそう》
- (1) エアソール缶は、ストーブ等の暖房器具の近くに置かない。  
ストーブ等の近くに置くことにより、エアソール缶が過熱されて破裂し、噴出したガスに引火する可能性があります。
  - (2) やむを得ず使い切らずに捨てる場合は、火気のない通気性のよい屋外で残りのガスがなくなるまで噴射してから廃棄してください。

### ひとり言

文責：本紙編集委員 大塚 義一

今年の夏は、例年を超える猛暑に見舞われた。17年ぶりに8月3～5日の三日間、慶大殿町キャンパスで集中研修(ウエルビーイングイノベーションTonomachi Edge)に参加した。真夏の集中講義は慶大三田と日吉で二桁超を経験済みだが、殿町キャンパスでの集中研修は後期高齢者の身には頗るきつかった。体調が万全でなかったこともあったが、無理してしまったのにはそれなりの訳がある。半世紀近くに亘

り組織・人事の改革事業を手掛けた身には、未来創造型の最先端を目指す慶大の意気込みに強く触発されての参加だった。42名が7グループに別れて独自のイノベーション創出に全力で臨んだ。数多くのイノベーションが誕生し抜群の成果であったが、学生・社会人総勢42名中三日間通して参加し修了証を手にしたのは、35名(≒84%)であった。その中に最高齢の私が踏み留まっていたのだから、自分でも驚いた。老成せず何処までも発展途上人を自認して精進してきたお陰なのかも知れない。この集中研修は本年の三番目の大きな出来事になるような気がする。